



2019年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年6月14日

上場会社名 株式会社 土屋ホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 1840 URL http://www.tsuchiya.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 昌三
 問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 上諏訪 広 TEL 011-717-5556
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百円未満切り捨て)

1. 2019年10月期第2四半期の連結業績（2018年11月1日～2019年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	11,766	19.7	△655	—	△622	—	△476	—
2018年10月期第2四半期	9,827	3.2	△898	—	△867	—	△660	—

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 △541百万円 (—%) 2018年10月期第2四半期 △688百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	△19.05	—
2018年10月期第2四半期	△26.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第2四半期	21,157	11,782	55.7	471.34
2018年10月期	21,210	12,448	58.7	498.00

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 11,782百万円 2018年10月期 12,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2019年10月期	—	0.00	—	—	—
2019年10月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年10月期の連結業績予想（2018年11月1日～2019年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,744	6.9	266	—	319	—	128	—	5.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年10月期2Q	25,775,118株	2018年10月期	25,775,118株
② 期末自己株式数	2019年10月期2Q	777,507株	2018年10月期	777,411株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年10月期2Q	24,997,664株	2018年10月期2Q	24,997,775株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかな回復基調であります。貿易摩擦や今後予定されている消費税増税など先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する住宅・不動産業界におきましては、新設住宅着工戸数の「持家」は、7か月連続で前年同月比を上回るなど堅調に推移したものの、総人口の減少や施工人員の高齢化・減少など、厳しい市場環境が続いております。

このような状況において、当社グループは、主力事業である住宅事業の業績回復に向け、営業基盤である北海道を中心にシェア拡大を目指して、「生活を、楽しくする家」をコンセプトに新商品「LIZNAS BASIC（リズナスベーシック）」の販売を2019年1月11日より開始しております。

また、「世界で一つ、あなただけの家」をコンセプトとした、最高級ブランド「CARDINAL HOUSE（カーディナルハウス）」を創業50周年にあたります2019年6月12日に発売しております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は117億66百万円（前年同四半期比19.7%増）となりました。利益につきましては、営業損失は6億55百万円（前年同四半期は営業損失8億98百万円）、経常損失は6億22百万円（前年同四半期は経常損失8億67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億76百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億60百万円）となりました。

なお、当社グループは、主要な営業地域が北海道や東北地方で、冬場は工事が進みにくく、第1四半期及び第2四半期に比べ第3四半期及び第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に著しい季節変動があります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①住宅事業

住宅事業の当第2四半期における受注高につきましては、前年同四半期と比較し、順調に推移いたしました。

当事業の売上高は、前第4四半期に発生した台風及び地震等の影響により前期引渡予定の物件が当期引渡となったことから80億90百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業損失は、売上高は増加したものの、新商品の発売に伴う販売促進費の増加などにより6億73百万円（前年同四半期は営業損失6億30百万円）となりました。

②リフォーム事業

リフォーム事業の当第2四半期における受注高につきましては、高耐久・高付加価値商品の販売に注力したことから、前年同四半期と比較し、順調に推移いたしました。

当事業の売上高は、台風及び地震等の影響により前期引渡予定の物件が当期引渡となったこと及び大型リフォームの引渡が増加したことから16億83百万円（前年同四半期比48.9%増）、営業損失は、売上高の増加により74百万円（前年同四半期は営業損失2億90百万円）となりました。

③不動産事業

不動産事業につきましては、仕入・販売ともに前年同四半期と比較し、順調に推移いたしました。また、中古住宅のリニューアルにより付加価値を高めるとともにリノベーション工事の標準化によるコストダウンを図り、収益性の向上に努めました。

当事業の売上高は、大型の土地取引があったことなどから16億85百万円（前年同四半期比73.0%増）、営業利益は、売上高の増加に伴い1億28百万円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

④賃貸事業

賃貸事業につきましては、賃貸管理物件の確保に努め、管理受託戸数の増加を図るとともに、オーナー様への支援強化を推進してまいりました。

当事業の売上高は、管理受託戸数は増加いたしましたが、修繕工事の売上が減少したことから、3億7百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は、売上高の減少及び一般管理費が増加したことから99百万円（前年同四半期比18.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産の減少(主に現金預金の減少、販売用不動産の増加)3億35百万円、固定資産の増加(主に繰延税金資産の増加)2億83百万円により211億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。

負債は、流動負債の増加(主に工事未払金等の減少、短期借入金の増加)6億42百万円、固定負債の減少29百万円により93億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億13百万円増加いたしました。

純資産は、季節的要因による利益剰余金の減少等により117億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億66百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期の売上高は当初予想を上回っておりますが、施工人員確保の懸念があることから、「2018年10月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,412,759	2,614,797
完成工事未収入金等	818,823	386,129
未成工事支出金	797,879	779,775
不動産事業支出金	76,500	98,925
販売用不動産	4,192,095	4,615,158
原材料及び貯蔵品	154,696	182,916
その他	443,143	1,107,963
貸倒引当金	△9,379	△4,411
流動資産合計	9,886,517	9,781,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,470,698	2,467,915
機械装置及び運搬具(純額)	856,082	813,868
土地	5,736,235	5,696,242
リース資産(純額)	27,457	25,473
建設仮勘定	3,598	28,372
その他(純額)	19,740	38,662
有形固定資産合計	9,113,812	9,070,534
無形固定資産		
その他	220,725	258,789
無形固定資産合計	220,725	258,789
投資その他の資産		
投資有価証券	843,923	773,031
長期貸付金	88,843	91,166
繰延税金資産	388,571	564,560
その他	725,637	677,502
貸倒引当金	△87,540	△87,504
投資その他の資産合計	1,959,435	2,018,756
固定資産合計	11,293,973	11,348,080
繰延資産		
創立費	2,053	1,796
開業費	28,393	26,710
繰延資産合計	30,446	28,507
資産合計	21,210,937	21,157,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	2,443,415	1,810,646
短期借入金	—	1,200,000
リース債務	17,954	16,460
未払法人税等	111,317	70,216
未成工事受入金	2,809,105	2,644,813
完成工事補償引当金	148,672	149,401
その他	1,496,062	1,777,892
流動負債合計	7,026,528	7,669,432
固定負債		
リース債務	30,108	26,467
役員退職慰労引当金	126,691	111,699
退職給付に係る負債	818,938	829,059
資産除去債務	65,383	67,129
その他	694,504	671,764
固定負債合計	1,735,627	1,706,120
負債合計	8,762,155	9,375,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,114,815	7,114,815
資本剰余金	4,427,452	4,427,452
利益剰余金	1,127,731	526,463
自己株式	△156,852	△156,864
株主資本合計	12,513,145	11,911,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36,680	△107,148
退職給付に係る調整累計額	△27,682	△22,425
その他の包括利益累計額合計	△64,363	△129,573
純資産合計	12,448,782	11,782,291
負債純資産合計	21,210,937	21,157,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
売上高	9,827,005	11,766,395
売上原価	7,086,569	8,731,434
売上総利益	2,740,435	3,034,961
販売費及び一般管理費		
従業員給料手当	1,457,031	1,444,662
退職給付費用	29,012	32,134
役員退職慰労引当金繰入額	6,303	6,204
賃借料	428,483	402,243
その他	1,718,316	1,805,401
販売費及び一般管理費合計	3,639,147	3,690,647
営業損失(△)	△898,711	△655,685
営業外収益		
受取利息	1,449	1,810
受取配当金	6,811	5,940
受取事務手数料	4,935	3,205
固定資産税等精算金	—	4,436
その他	30,251	27,930
営業外収益合計	43,447	43,322
営業外費用		
支払利息	4,553	2,875
減価償却費	196	3
開業費償却	3,405	3,636
和解金	2,760	—
その他	916	3,386
営業外費用合計	11,833	9,902
経常損失(△)	△867,096	△622,265
特別利益		
固定資産売却益	46	11,717
特別利益合計	46	11,717
特別損失		
固定資産除却損	151	144
役員退職慰労金	605	443
減損損失	8,193	—
事務所移転費用	—	8,922
特別損失合計	8,949	9,510
税金等調整前四半期純損失(△)	△876,000	△620,057
法人税、住民税及び事業税	31,959	34,457
法人税等調整額	△247,473	△178,235
法人税等合計	△215,513	△143,778
四半期純損失(△)	△660,486	△476,279
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△660,486	△476,279

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
四半期純損失(△)	△660,486	△476,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,341	△70,467
退職給付に係る調整額	814	5,257
その他の包括利益合計	△27,526	△65,210
四半期包括利益	△688,013	△541,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△688,013	△541,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒実績高の算定方法

一般債権の貸倒実績高の算定については、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年11月1日至2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	住宅事業	リフォーム 事業	不動産事業	賃貸事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,410,575	1,130,023	974,100	312,305	9,827,005	—	9,827,005
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,469	—	5,237	112,780	192,488	△192,488	—
計	7,485,045	1,130,023	979,338	425,086	10,019,494	△192,488	9,827,005
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△630,002	△290,360	100,208	122,955	△697,197	△201,513	△898,711

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△201,513千円には、セグメント間取引消去△57,501千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144,011千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失8,193千円のセグメントは、全て住宅事業であります。なお、のれん等の該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年11月1日至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	住宅事業	リフォーム 事業	不動産事業	賃貸事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,090,251	1,683,073	1,685,618	307,452	11,766,395	—	11,766,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,778	6,800	7,050	58,153	104,784	△104,784	—
計	8,123,029	1,689,874	1,692,668	365,606	11,871,180	△104,784	11,766,395
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△673,747	△74,976	128,899	99,685	△520,139	△135,545	△655,685

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△135,545千円には、セグメント間取引消去2,615千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,160千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)
住宅事業	7,410,575	8,090,251	17,688,426
リフォーム事業	1,130,023	1,683,073	3,426,657
不動産事業	974,100	1,685,618	3,225,772
賃貸事業	312,305	307,452	675,878
合計	9,827,005	11,766,395	25,016,734

② 受注状況

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間		前連結会計年度	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
住宅事業	9,159,779	5,768,585	11,732,612	9,307,787	19,334,470	5,665,426
リフォーム事業	1,449,108	1,068,784	1,916,163	1,350,361	3,794,229	1,117,272